

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
(仮称)市民活動交流施設

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年
評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質						3.7
Q1 室内環境			0.40			3.4
1 音環境		3.0	0.23	-	-	3.0
1.1 騒音		3.0	1.00	-	-	
1.1.1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		-	-	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	-	3.0	-	
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.44	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
2.1.1 室温設定		3.0	0.50	3.0	-	
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-	
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	3.0	-	
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
2.1.6 個別制御		-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	
2.1.8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	
3.1.1 昼光率		3.0	-	3.0	-	
3.1.2 方位別開口		3.0	-	3.0	-	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	-	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		3.0	-	3.0	-	
3.3 照度		-	-	-	-	
3.3.1 照度		3.0	-	3.0	-	
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	-	3.0	-	
4 空気環境		4.5	0.33	-	-	4.5
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
4.1.1 化学汚染物質	F を全面採用、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量	5.0	1.00	3.0	-	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		4.0	0.30	-	-	
4.2.1 換気量	換気量1.2倍	4.0	0.50	3.0	-	
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮	各種排気口と6m以上離れて設置	4.0	0.50	3.0	-	
4.2.4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
4.3.2 喫煙の制御	全面禁煙	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	4.0
1 機能性		4.4	0.40	-	-	4.4
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
1.1.3 バリアフリー計画	誘導基準を満たしている	4.0	1.00	3.0	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	-	-	
1.2.1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	-	
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-	
1.2.3 内装計画	照明計画と内装計画を一体として計画	5.0	1.00	3.0	-	
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計	主要なPSの点検口は廊下に面するなどメンテナンス性に配慮	5.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保	入隅部を減らし埃溜りを防ぎ清掃をしやすくしている	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		4.3	0.31	-	-	4.3
2.1 耐震・免震		4.6	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性	重要度係数1.5	5.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数	等級3相当	5.0	0.23	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	高耐久材の選定	5.0	0.23	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレスダクト等による長寿命化	5.0	0.08	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			4.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源種の二重化を行なっている	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	中水利用	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA相当	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.3	0.29	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	耐力壁の少量化	4.0	1.00	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		壁面位置や高さなど周辺のまちなみに調和	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	広場や歩道状空地を整備	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	空地の確保	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.6	0.30	-	-	3.6
4 効率的運用			4.5	0.20	-	-	4.5
4.1	モニタリング	エネルギー消費の内訳を把握	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	地球温暖化防止実行計画	5.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.2
1 水資源保護			4.2	0.15	-	-	4.2
1.1	節水	節水型便器	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		4.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用率20%以上	5.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.1	0.63	-	-	4.1
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントを躯体に採用	4.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用 タイル 木材・プラスチック再生複合ほか	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	使用木材は床フローリングが主であり、その部分に採用している	5.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	再利用できるユニット部材の採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質の含有の無い材料を採用	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤の使用なし	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材	ODP = 0、GWP = 50未満を採用	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	卓越風向に配慮した建物配置	4.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	雨水貯留槽を設置	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐輪台数、駐車台数を確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		5.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋内照明に配慮する	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	ガラスの設置箇所に配慮する	5.0	0.30	-	-	